

学校運営協議会議事録

校名	府立金剛高等学校
校長名	大崎 弘司

開催日時	令和7年7月12日(土)10:00～12:00
開催場所	大阪府立金剛高等学校 2階会議室
出席者(委員)	村上 佳司 [桃山学院教育大学 教授] 大山口 公治 [大阪府立金剛高等学校金剛会 代表] 金 和子 [とんだばやし国際交流協会] 下阪 善彦 [藤陽中学校区地域教育協議会 元会長] 藤岡 章寿 [富田林市立葛城中学校 校長] 明石 紀子 [PTA代表] 長谷川 陽一 [桃山学院教育大学 教授]
出席者(学校)	[校長] 大崎弘司 [教頭] 竹村有加 [事務長] 大前美世 [首席] 松永 考史
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度学校経営計画・学年状況 43期進実績・44期進路希望・部活動入部状況
備考	

議題等(次第順)

- 1 校長あいさつ
- 2 出席者紹介【資料1】
- 3 委員長選出
- 4 教科書採択について報告
- 5 協議
  - ①令和7年度学校経営計画【資料2】
  - ②今年度の取り組みと報告
    - 卒業生(43期)の進路状況【資料3】及び3年生(44期)の進路希望【資料4】
    - 1年生部活動加入状況【資料5】
    - 生徒の様子【資料6・7】  
 3年生(44期)、2年生(45期)、1年生(46期)、共生推進教室
  - ③教育課程の変更
  - ④「学校特色枠」の入試について
- 6 その他
  - ・広報活動について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

《全体協議・意見交換》  
 【令和7年度学校経営計画について】  
 規範意識の醸成、生活指導等の在り方について  
 懲戒件数や遅刻の数が増えていることに対する分析についてご意見をいただいた。  
 ていねいに「伝わる」言葉で指導を行っていく必要性、肯定的行動支援を学校全体で取り組むことで意欲を引き出す、育む  
 ことを大事にしてほしい等との意見があった。

【クラブ活動加入率】  
 富田林市の中学校ではR10年度に完全移行を予定しているが、スポーツ離れへの懸念もある。

【キャリア教育の充実と自己実現の支援について】  
 キャリア発達支援の観点から、生徒の実態把握が大事。研修等で教職員の基盤作りや意識改革が必要。  
 「教材」を上手  
 に活用し、人生「なりたい自分」のビジョンを描けるような学習を継続的に取り組むことで「自立」に向けたヒントになる。  
 どんな大人になりたいのかを主体的に考える機会となる探求学習については肯定的な意見が多かった。

【教育課程の変更・「学校特色枠」の入試について】

《学校側の状況報告》

- 道路交通法改正を踏まえた自転車マナーや規範意識について
  - ・学校近くの状況だけだが、挨拶をしていく生徒も多い。また、坂道でスピードを出していることはあるが、声をかければ  
 素直に反応する生徒がほとんどである。
- 今年度の生徒の様子について
  - ・様々な配慮が必要な生徒が増えているとのことであるが、生徒指導方針も変更されているので、個々の生徒の状況を見  
 て対応していると考えている。
  - ・転退学者については、私学の通信制への転学が多い。
  - ・中学生の卒業後の進路選択の一つとして、単位制の学校を選ぶ生徒は年々増えている状況。

次回の会議日程

日時	令和7年11月14日(金)14:00～
会場	大阪府立金剛高等学校 2階会議室